

第34号

かわしん

景況レポート

平成30年5月
(平成30年1月～3月期調査)

強いかわしん 未来へつなぐ力発揮 一致団結

調査の概要

1. 調査の目的 当金庫取引先の最近の景気動向の把握と取引先等に対する経営情報の提供を目的に実施しています。
2. 調査の時期 平成30年3月1日（木）～7日（水）
3. 調査の内容 前期（平成29年10月～12月期）と比べた当期（平成30年1月～3月期）の実績、当期と比べた来期（平成30年4月～6月期）の予想
特別調査「経営者の健康管理と事業の継続について」
4. 調査対象 当金庫お取引先企業 400社
5. 業種別対象企業数 製造業 94、卸売業 61、小売業 59、サービス業 58、
建設業 80、不動産業 48
6. 調査方法 聴き取りによる調査
7. 分析方法 この調査の分析はDI（Diffusion Index）を景気判断の指数として用います。DIは（「増加」「上昇」「楽」）したと答えた企業割合から（「減少」「下降」「苦」）したと答えた企業割合を差し引いた数値のことです。この数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさによって景況の動きを時期的な推移の中で把握しようとするものです。なお、「増加」には「やや増加」を「減少」には「やや減少」を含みます。「上昇」「下降」等も同様です。



ネモフィラ

目次

■ 時	流		P1
■ 全	業		P2
■ 製	種		P2
■ 造	業		P3
■ 卸	業		P3
■ 売	業		P3
■ 小	業		P3
■ 売	業		P3
■ サ	業		P4
■ ー	業		P4
■ バ	業		P4
■ ッ	業		P4
■ ス	業		P4
■ 建	業		P4
■ 設	業		P4
■ 不	業		P4
■ 動	業		P4
■ 産	業		P4
■ 業	業		P4
■ 特	業		P4
■ 別	業		P4
■ 調	業		P4
■ 査	業		P4
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5
■ について	業		P5
■ 経	業		P5
■ 営	業		P5
■ 管	業		P5
■ 理	業		P5
■ と	業		P5
■ 事	業		P5
■ 業	業		P5
■ の	業		P5
■ 継	業		P5
■ 続	業		P5



しんきんアセットマネジメント投信株式会社
チーフエコノミスト

つじ よしと
辻 佳人

経歴

日本興業銀行（現みずほ銀行）入行。シティバンク銀行勤務を経て、スタンダードチャータード銀行のシニアインベストメントストラテジストとして経済・為替市場の調査・分析等に従事。2013年しんきんアセットマネジメント投信入社、現在に至る。

現在の日本経済は、少なくとも統計上、拡大局面にある。

実質国内総生産（GDP）成長率は昨年、1%台後半を記録した。人口減などで潜在成長率の下がった日本としては、上出来だろう。今年についても、1%台の成長率を維持できそうである。

ただし、実質賃金など所得の伸びは鈍く、個人消費も冴えない。足元の景気拡大は輸出主導であり、これは好調な海外経済のおかげである（依然割安な円相場も多少は貢献している）。

世界を見渡すと、米国、中国、ユーロ圏など主な国・地域は、軒並み安定的な成長を示している。このため世界経済は現在、2008年の金融危機後、最も良好な状態にある。

すなわち、同時的な不況から同時的な好況へ、局面が変化したのである。このように景気サイクルの同時性が高まったのは、輸出や投資などを通じたグローバル化の深化による。

つまり、主要国に関しては、一国のみが突出した好況あるいは不況を経験するようなことは稀となっている。とりわけ日本の経済や金融市場は、世界経済への感応度がひときわ高い。

世界金融危機の際、日本経済は、危機の震源地である米欧以上の落ち込みを余儀なくされた。逆に現在は、前述のとおり、世界経済の拡大に伴い実力以上の成長率を記録している。

日本の場合、内需（消費や設備投資など）が今後顕著に増えるとは考えにくい。それだけに、ますます海外の需要（輸出、訪日観光など）に活路を求めざるを得なくなるだろう。

しかし輸出を有利にすべく円安へ誘導するのは、誤った政策だ。第一に、円安で輸出企業の円建て利益は嵩上げされるが、それは自助努力を阻害する。第二に、円安は通貨価値の劣化（購買力の悪化）にすぎ

ず、消費を抑制する（アベノミクスのもとで消費が弱いのは、円安が一因）。

そして第三に、為替を永続的に操作することはできない。実際、日銀の異次元緩和（超低金利や資産の買入れ）の限界が明らかになった今、その円安誘導効果はすでに薄れている。

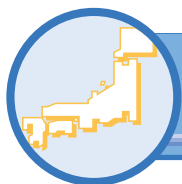
円安に頼れない以上、企業としては、生産性やブランド力を向上させ、競争力を高めるしかない。同時に政府には、他国との連携のもと、自由で公平なルールを整備する努力が求められよう。

ところが今、国際連携に背を向けているのが、米国のトランプ政権である。3月には、同政権は鉄鋼・アルミニウムへの高関税を導入した（日本製品も対象）。さらに、広範な中国製品への関税措置や中国からの投資規制を発表した。それらが中国の報復を招き、貿易戦争へ、という事態がエスカレートすれば、世界経済の（したがって日本経済の）拡大シナリオは崩れてしまう。

とはいえ、グローバル化に逆行するトランプ政権の試みが成功するとは考えにくい。国際分業から恩恵を受けているのは米国の産業や消費者にほかならず、保護貿易には米国内でも反発が強いからだ。それでも、貿易赤字は「負け」というトランプ氏の信念は、極めて強固である。

日本としては、米国の内向き姿勢とは一線を画し、自由貿易を推進する立場を堅持せねばならない。この点、環太平洋経済連携協定（TPP）をめぐる動きは心強い。「米国抜き」のTPP合意において、これを主導したのは日本であった。また、対中関係の改善が図られているのも正しい方向だ。例えば、中国提唱の巨大経済圏「一帯一路」には、積極的に参加すべきだろう。

まとめると、これから予想される動きは、円安の修正、および米国の孤立である。日本としては、足元の景気回復に安住することなく、それらを直視した上で的確に対処することが必要だ。



全業種

All industry

業況・売上・収益

○業況

全業種の当期(1~3月)の業況判断DIは6.2で、前期(10~12月)の3.0と比べて3.2ポイント良化しています。来期(4~6月)は0.5で悪化すると予想しています。

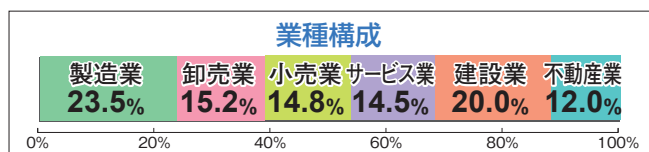
業種別では、前期と比べ卸売業、小売業、建設業、不動産業で良化し、製造業、サービス業で悪化の業況でした。

○売上

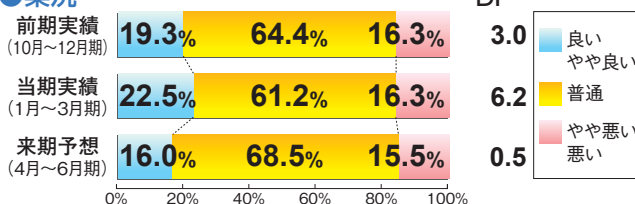
売上額判断DIは、前期12.6から当期4.5と8.1ポイント悪化しています。来期は7.5と良化すると予想しています。

○収益

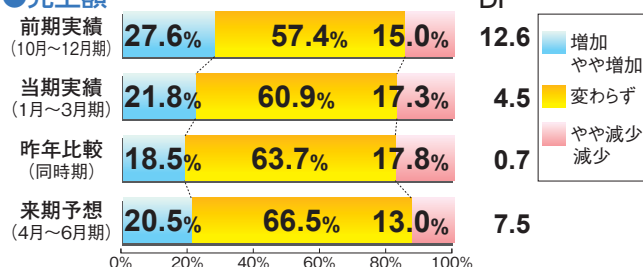
収益判断DIは、前期8.4から当期2.7と5.7ポイント悪化しています。来期は4.0と良化すると予想しています。



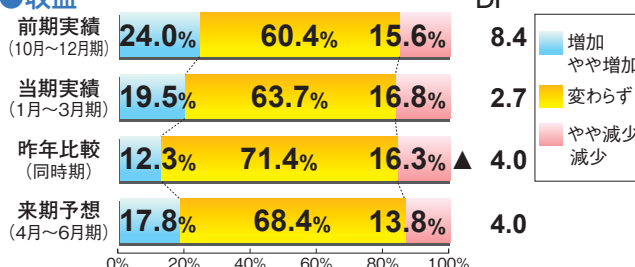
●業況



●売上額



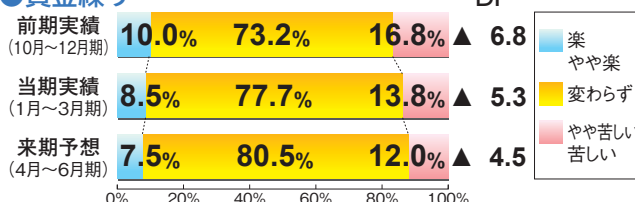
●収益



資金繰り

資金繰り判断DIは、前期▲6.8から当期▲5.3と厳しさが和らいでいます。来期は▲4.5と厳しさは緩和されると予想しています。

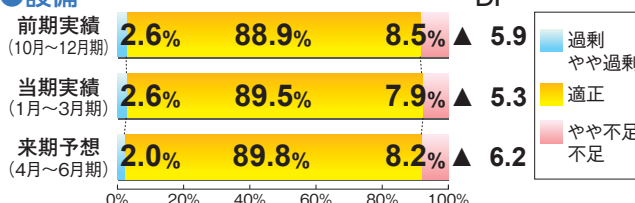
●資金繰り



設備

設備状況判断DIは、前期▲5.9から当期▲5.3と不足感が減少しましたが、来期は▲6.2と不足感が大きくなると予想しています。

●設備



調査員のコメント

- <製造業> 人手不足と代表者の高齢化が課題になっている
- <卸売業> 人材不足と安価な外国製品への対応に苦慮している
- <小売業> 少子化の影響で売上が減少傾向である
- <サービス業> 概ね業況は順調であるが、人手不足が深刻になっている
- <建設業> 受注は増加傾向であるが、人材確保に苦戦している
- <不動産業> 顧客のネット利用が普及しており、囲い込みが難しい



製造業

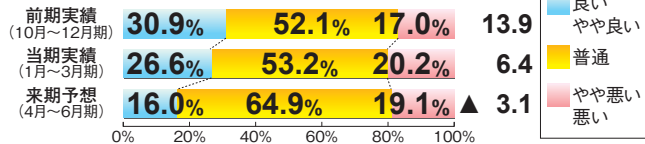
Manufacturing industry

業況・売上・受注・収益

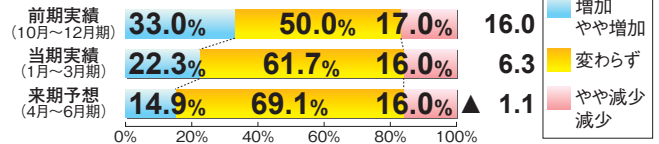
製造業の当期（1～3月）の業況判断DIは6.4で、前期（10～12月）の13.9と比べて7.5ポイント悪化しています。来期（4～6月）は▲3.1とさらに悪化に転じると予想しています。

売上額判断DIは、前期19.1から当期▲1.1と20.2ポイント悪化しています。来期は7.5と良化に転じると予想しています。受注残判断DIは、前期16.0から当期▲1.1と悪化しています。収益判断DIは、前期10.8から当期▲7.5と悪化に転じています。また、来期は2.0と良化に転じると予想しています。

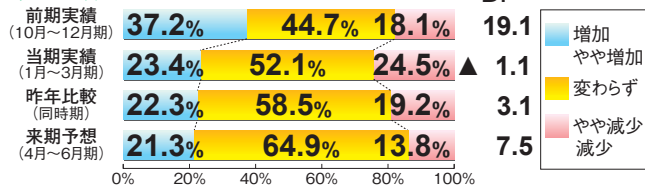
●業況



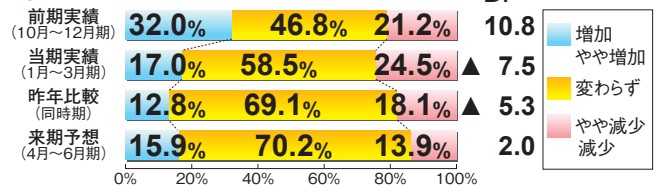
●受注残



●売上額



●収益



卸売業

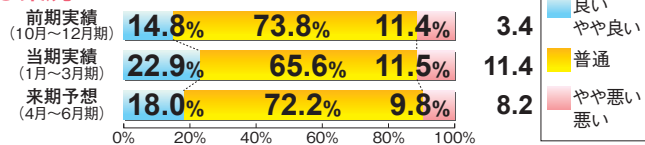
Wholesale industry

業況・売上・収益

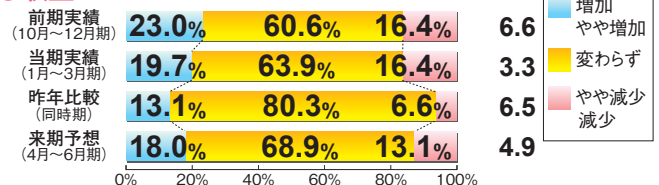
卸売業の当期（1～3月）の業況判断DIは11.4で、前期（10～12月）の3.4と比べて8ポイント良化しています。来期（4～6月）は8.2と悪化すると予想しています。

売上額判断DIは、前期24.6から当期9.8と減少しています。来期は9.8と横ばいで推移すると予想しています。収益判断DIは、前期6.6から当期3.3と悪化しています。来期は4.9と増加すると予想しています。

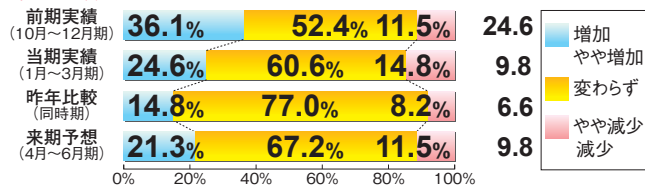
●業況



●収益



●売上額



小売業

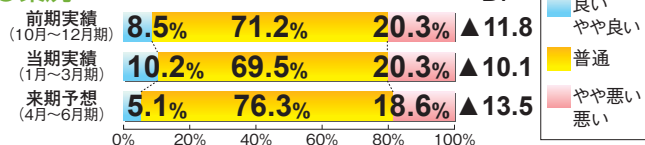
Retail business

業況・売上・収益

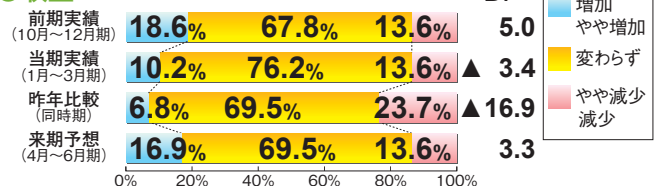
小売業の当期（1～3月）の業況判断DIは▲10.1で、前期（10～12月）の▲11.8と比べて1.7ポイント良化しています。来期（4～6月）は▲13.5と悪化すると予想しています。

売上額判断DIは、前期1.7から当期▲3.4と悪化に転じています。来期は6.7と良化に転じると予想しています。収益判断DIは、前期5.0から当期▲3.4と悪化に転じています。また、来期は3.3と増加に転じると予想しています。

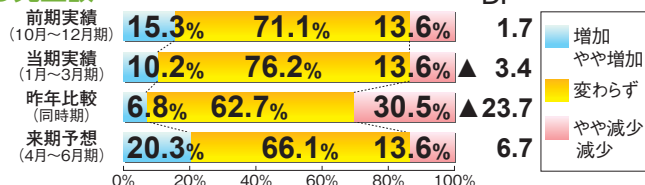
●業況



●収益



●売上額





サービス業

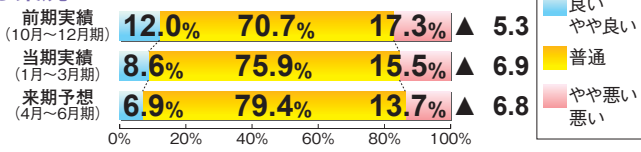
Service industry

業況・売上・収益

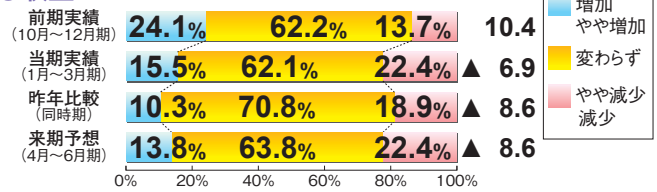
サービス業の当期（1～3月）の業況判断DIは▲6.9で、前期（10～12月）の▲5.3と比べて1.6ポイント悪化しています。来期（4～6月）は▲6.8と横ばいを予想しています。

売上額判断DIは、前期8.6から当期▲6.9と悪化に転じています。来期は▲1.7と良化すると予想しています。収益判断DIは、前期10.4から当期▲6.9と悪化に転じています。来期は▲8.6とさらに悪化すると予想しています。

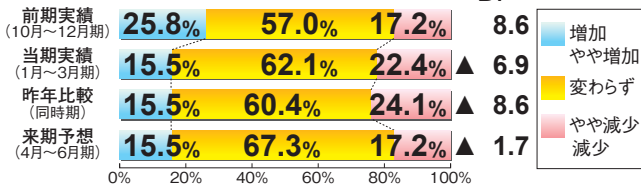
●業況



●収益



●売上額



建設業

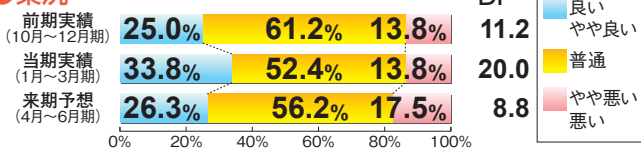
Construction industry

業況・売上・受注・収益

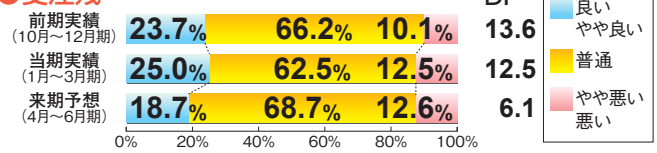
建設業の当期（1～3月）の業況判断DIは20.0で、前期（10～12月）の11.2と比べて良化しています。来期（4～6月）は8.8と悪化すると予想しています。

売上額判断DIは、前期12.5から当期6.2と悪化しています。来期は4.9とさらなる悪化を予想しています。受注残判断DIは、前期13.6から当期12.5と悪化しています。来期は6.1とさらなる悪化すると予想しています。収益判断DIは、前期8.8から当期11.2と良化しています。また、来期は5.0と増加幅が減少すると予想しています。

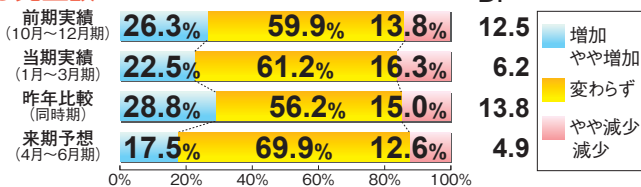
●業況



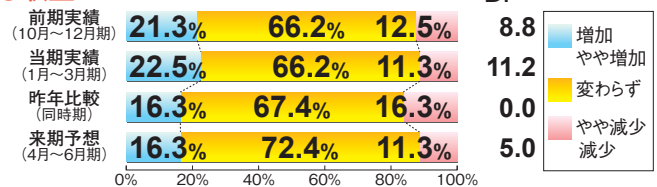
●受注残



●売上額



●収益



不動産業

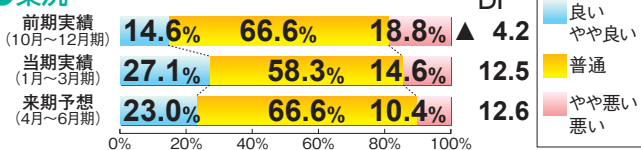
Real estate industry

業況・売上・収益

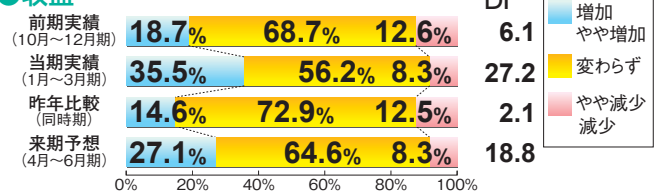
不動産業の当期（1～3月）の業況判断DIは12.5で、前期（10～12月）の▲4.2と比べて良化に転じています。来期（4～6月）は12.6と横ばいを予想しています。

売上額判断DIは、前期6.2から当期27.1と増加しています。来期は20.9と今期に比べ悪化すると予想しています。収益判断DIについては、前期6.1から当期27.2と良化しています。来期は18.8と今期に比べ悪化すると予想しています。

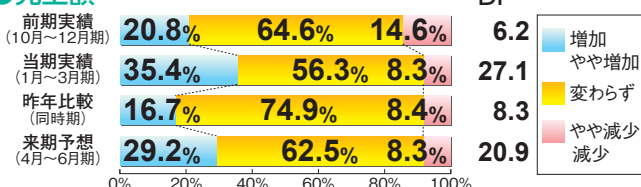
●業況



●収益



●売上額



- 問1. 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

（社長の年齢階層）	（人数）	（構成比）
1.20歳代、30歳代……………	12	3.0%
2.40歳代……………	72	18.0%
3.50歳代……………	102	25.5%
4.60歳代……………	134	33.5%
5.70歳代以上……………	80	20.0%
合 計	400	100.0%

（社長の代）	（人数）	（構成比）
6.創業者……………	213	53.2%
7.2代目……………	155	38.7%
8.3代目……………	21	5.3%
9.4代目……………	7	1.8%
0.5代目以上……………	4	1.0%
合 計	400	100.0%

- 問2. 健全な経営のためには、社長（代表者）の健康が大切です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりにするとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

（1週間あたりの労働時間）	（人数）	（構成比）
1.40時間未満……………	73	18.2%
2.40時間以上60時間未満……………	194	48.5%
3.60時間以上80時間未満……………	103	25.7%
4.80時間以上100時間未満……………	21	5.3%
5.100時間以上……………	9	2.3%
合 計	400	100.0%

（健康診断を受ける頻度）	（人数）	（構成比）
6.1年に1回以上……………	339	84.7%
7.2～4年に1回……………	51	12.7%
8.5～10年に1回……………	4	1.0%
9.10年以上受けていない……………	1	0.3%
0.受けたことがない……………	5	1.3%
合 計	400	100.0%

- 問3. 仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。6～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

（業務継続）	（人数）	（構成比）
1.通常通りの業務継続が可能……………	202	50.5%
2.主要業務に限り継続可能……………	109	27.3%
3.大幅に業務を縮小した上で継続可能……………	39	9.7%
4.業務継続は不可能（休業、廃業）……………	19	4.8%
5.わからない……………	31	7.7%
合 計	400	100.0%

（心配される機能の低下や悪化）	（人数）	（構成比）
6.営業機能や販売機能の低下……………	171	42.7%
7.生産機能や仕入機能の低下……………	49	12.3%
8.資金繰りの悪化……………	18	4.5%
9.わからない……………	88	22.0%
0.心配していない……………	74	18.5%
合 計	400	100.0%

- 問4. 問3に続いて、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。1～0の中から1つ、最も当てはまるものを選んでお答えください。

（選択項目）	（人数）	（構成比）
1.配偶者……………	69	17.2%
2.子供……………	75	18.7%
3.親……………	23	5.8%
4.親族（上記1～3以外）……………	32	8.0%
5.役員・従業員（親族以外）……………	147	36.7%
6.販売先・仕入先……………	0	0.0%

（選択項目）	（人数）	（構成比）
7.同業他社……………	1	0.3%
8.その他……………	0	0.0%
9.自分の代わりはいない……………	53	13.3%
0.休廃業するから代わりは必要ない……………	0	0.0%
合 計	400	100.0%

- 問5. 社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

（選択項目）	（人数）	（構成比）
1.仕事における達成感……………	109	14.2%
2.社内での余暇活動（社員旅行等）……………	28	3.6%
3.家族とのふれあい……………	111	14.5%
4.地域活動、団体活動、ボランティア等……………	40	5.2%
5.飲食……………	108	14.1%
6.睡眠……………	90	11.7%

（選択項目）	（人数）	（構成比）
7.運動・スポーツ……………	106	13.8%
8.趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）……………	170	22.1%
9.その他……………	2	0.3%
0.ストレス解消法はない……………	4	0.5%
合 計	768	100.0%

かわしん経営塾



コラボ・コンサルト

代表 **町田 浩一** (中小企業診断士)

キャノン電子(株)にて経理・事業企画・工場で海外生産まで担当。社員の意識改革による高収益企業への取組みを2つの工場で常務執行役員として実践。同社退職後は経営コンサルタントとして、主に製造業の工場改善(5S、ムダ排除、品質・生産性向上、コミュニケーション向上、人材育成)および事業再生、経営革新などで多数の企業の支援に取り組んでいる。また、中小企業大学校、千葉商科大学大学院にて中小企業診断士養成課程の実習及び講義を行っている。

セミナー
開催のご案内

「社員に効率よく
働いてもらうには」
～社長と社員の意識改革～

気づかいうちに社員のモチベーションを
下げていませんか？現場で社員が
気持ちよく働く環境作り、やる気を起こす
環境作りをテーマに、実践的な取組みを分
かりやすくお話しします。

参加無料

いずれの会場でもご参加いただけます
(各会場定員になり次第締切らせていただきます)

- ・ 平成30年5月 9日 (水) 川口信用金庫 一ノ割支店
- ・ 平成30年5月11日 (金) 川口信用金庫 北浦和支店
- ・ 平成30年5月15日 (火) 川口信用金庫 蕨 支 店
- ・ 平成30年5月18日 (金) 川口信用金庫 本 店
- ・ 平成30年5月22日 (火) 川口信用金庫 志 木 支 店

開催時間 16:20～18:00 (受付開始16:00)

参加ご希望の方は各取引店にお申し込み下さい

内容についてのお問い合わせ 川口信用金庫 営業推進部 地域産業支援課(担当:岸)TEL.048-259-4111

経営課題解決にむけた 個別相談会

開催の
ご案内

各取引店に
お申し込み下さい

相談無料

さまざまな経営課題を解決すべく経営の専門家が出張相談
完全予約制の個別相談会で経営課題解決をお手伝いします。

- ・ 平成30年6月 7日（木）川口信用金庫 桶 川 支 店
- ・ 平成30年6月12日（火）川口信用金庫 せんげん台支店
- ・ 平成30年6月15日（金）川口信用金庫 北 浦 和 支 店
- ・ 平成30年6月19日（火）川口信用金庫 本 店
- ・ 平成30年6月22日（金）川口信用金庫 志 木 支 店
- ・ 平成30年7月10日（火）川口信用金庫 久 喜 支 店

相談時間 9:00～17:00 一企業90分以内
（予約申し込み後、個々に開始時間をご連絡させていただきます）

- ◆ 完全予約制の相談会です。必ず事前申し込みをお願い致します。
- ◆ 北浦和支店会場の相談会は公益財団法人さいたま市産業創造財団、それ以外の会場は公益財団法人埼玉県産業振興公社（埼玉県よろず支援拠点）所属のコーディネーターが出張相談対応致します。
- ◆ 相談時間を有効に活用するため、申込企業の業種・財務内容等、当金庫が有する情報について秘密保持契約に基づいて各公益財団法人に事前に提供する場合があります。
- ◆ 申込に際して記入していただいた情報は相談会の管理運営についてのみ利用致します。

後援

公益財団法人埼玉県産業振興公社（埼玉県よろず支援拠点）
公益財団法人さいたま市産業創造財団

内容についてのお問い合わせ 川口信用金庫 営業推進部 地域産業支援課(担当:岸)TEL.048-259-4111

企業レポート

株式会社大成精密



創業 昭和45年3月
法人設立 昭和63年10月
代表取締役 井本 知之
資本金 300万円
従業員数 10名
本社 (第一工場)
埼玉県さいたま市北區大成町4-660-1
(第二工場)
埼玉県さいたま市北區大成町4-665-1
TEL 048-666-2601
FAX 048-711-2554
事業内容 精密小型歯車の製作、加工、検査



大宮支店

住所 さいたま市北區榑引町2丁目254番地
TEL 048-666-4311 (代)



長島支店長



【企業概要】

株式会社大成精密は、昭和45年3月現取締役会長である井本智敏氏が歯車製造業として「サカイ歯車」を設立。昭和63年10月有限会社大成精密として法人成りし、平成25年2月株式会社へ組織変更。同時期に、現代表の井本知之氏が代表取締役社長に就任し現在に至っております。

精密歯車から一般レベルの歯車まで、仕様や精度に関してお客様の様々な要望に柔軟に対応した加工を行っています。また、開発用の高精度歯車についても「迅速・柔軟・確実」に試作・製作しています。主な販売先は、大手OA機器複写機メーカーや半導体分野等、30社以上ある取引先の9割以上が各業界を代表する大企業を中心とし多岐に亘っております。歯車は、映画の映写機、コピー機、回転ずし等のすしロボット、国産人工衛星や航空機等精密機器などには欠かせない部品であり、100%の高い精度を求められています。当社では、お客様の高い品質のご要望に応える為、JIS規格が0~10級まである中で、最高レベル「JIS0級」の加工技術を提供しております。また生産、検査設備に万全を期す為、設備投資にも積極的に取り組み、熟練の技術者が製作する高精度の歯車製品は、お客様からも好評を頂き新聞でも紹介されているほどです。

【経営者よりメッセージ】

当社は、国産人工衛星も手掛ける確かな技術力を武器に精度を重視し、お客様の高い品質のご要望に応える為、技術革新と設備投資をして参りました。これからも精度への研究と挑戦を続け、お客様の信頼に応え愛される企業を目指し、また当社の技術力が多くの発展・繁栄に繋がりますよう誠心誠意努力して参ります。

株式会社松田桐箱



設立 大正8年2月
法人設立 昭和27年10月
代表取締役 松田 克成
資本金 1,000万円
従業員数 18名
本社 春日部市緑町5丁目1番16号
TEL 048-736-7805
FAX 048-736-6510
事業内容 桐箱製造販売



一ノ割支店

住所 春日部市一ノ割1丁目11番18号
TEL 048-736-3111 (代)



新井支店長



【企業概要】

株式会社松田桐箱は、春日部の伝統工芸・地場産業である「桐箱」を製造販売しております。初代・松田敬蔵氏が、大正8年に独立・創業し、昭和27年10月有限会社松田桐箱製作所を設立。平成12年5月株式会社松田桐箱に組織変更、平成17年現代表である松田克成氏が代表取締役社長に就任し現在に至っております。

春日部の桐箱産業は江戸時代に日光東照宮造営に携わった工匠が当地で日常品を作ったのが始まりといわれ、約300年の伝統があります。

防湿性に富み、軽くて優雅な桐の特徴を生かし、桐箱・名刺入れ・ペンケースの他文庫や小引き出しなどの日用品、陶磁器、貴重品などの保存箱や贈答品のパッケージなどを生産し、多くの方々に親しまれ、高く評価されています。

【経営者よりメッセージ】

当社は、来年で創業100周年を迎えようとしています。これもひとえにお客様各位のお引立てのお陰と深く感謝しております。

以前は、春日部に30社を超える桐箱関連業が在りましたが、需要の低迷後継者不足などにより、現在では十数社になっております。

春日部の伝統工芸品「桐箱」をもっと多くの方々に知ってもらい、使ってもらえるように、10年ほど前から少しずつですが自社オリジナルの製品を開発しネット販売を始めました。伝統的な桐箱の枠にとらわれず、しかし伝統技術を活かした「新しい桐箱」の形を模索しながら日々精進しています。

今後も、伝統の技術を保つとともに、新技術の導入やデザイン開発を進め、みなさまの需要に広くお応えできるよう一層努力して参りますので、ご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※当金庫お取引先企業を順次ご紹介いたしております

トピックス

●「かわしん経営塾」セミナー開催

「かわしん経営塾」は、経営者の皆様の企業経営力強化と後継者育成をお手伝いするとともに、地元中小企業の発展に寄与し地域経済の活性化へと繋げることを目的に開催しています。

平成30年1月19日（金）から平成30年2月21日（水）まで、株式会社 abilight 代表取締役 安部博枝氏を講師に迎え「中小企業の組織活性化に繋がる人材育成の仕組みづくり」をテーマに5ヶ所の会場でセミナーを開催いたしました。これからの労働市場の変化を踏まえた人材育成の重要性など、今後の企業経営に役立つ内容で、合計177社の企業が参加し好評をいただきました。



●「彩の国ビジネスアリーナ2018」開催

平成30年1月24日（水）、25日（木）、さいたまスーパーアリーナにて国内最大級のビジネス展示会「彩の国ビジネスアリーナ2018」が約660社の参加により盛大に開催され、2日間で17,156名が来場しました。

当金庫からも22社の取引先が出展し、積極的なビジネスマッチングの機会として多くの商談が行われました。



トピックス

●鴻巣市と「地方創生に係る包括連携に関する協定書」締結

平成30年1月26日（金）、鴻巣市と当金庫は地方創生に係る包括連携に関する協定書を締結しました。
地方創生の実現のために、相互に協働した取組等を推進することにより、安全・安心な地域づくりに貢献してまいります。



●「川口中央川信会」発足

平成30年3月9日（金）、川口中央支店で新たに後援会が発足しました。

当金庫の後援会「川信会」は、情報交換を通して会員相互の発展を目指し、金庫と共に前進していくことを目的に運営されており、「川口中央川信会」の発足で、32店舗に後援会が設置されました。

今後も会員増強と交流により組織の活性化に努めてまいります。



事業者のみなさま、是非ご相談ください。

課題解決のご相談は
かわしんにおまかせください!



私たちは地域金融機関として、
事業の成長における悩みに対し、
お客様と一緒に解決に取り組めます。

かわしんは地域の事業者様を 応援します！

川口信用金庫は、地域の事業者様が、日頃抱えている様々な経営課題の解決を応援いたします。事業者様にぴったり寄り添い、業績向上への改善策のご提案やアドバイスなど、金融面だけでなく、本業のお手伝いもさせていただきます。地域の「良きパートナー」として、事業者様の課題解決をサポートすることは、当金庫の大切な仕事です！

創業 新規事業 支援

お客様のチャレンジを応援します!!

- ①創業に向けた計画や準備のお手伝い
- ②各種補助金制度の紹介や活用のアドバイス
- ③必要資金など金融サービスのご相談

ビジネス マッチング 支援

企業ニーズを活かしたマッチングを提供します!!

- ①ビジネスマッチング情報の提供
- ②ビジネスフェアの開催・出展のご案内
- ③ビジネスマッチングのサポート

事業承継 M&A 支援

円滑な事業承継をサポートします!!

- ①事業承継やM&Aに精通した専門家等のご紹介
- ②事業引継ぎ支援センターとの連携
- ③事業承継計画の作成支援

産学官 連携 支援

企業と大学と地方自治体で技術開発をサポートします!!

- ①高度な専門知識を持つ大学や経営のエキスパートを揃える公的機関との橋渡し
- ②専門家から技術・経営課題のアドバイス
- ③研究者との人脈の構築

海外進出 支援

海外展開をサポートします!!

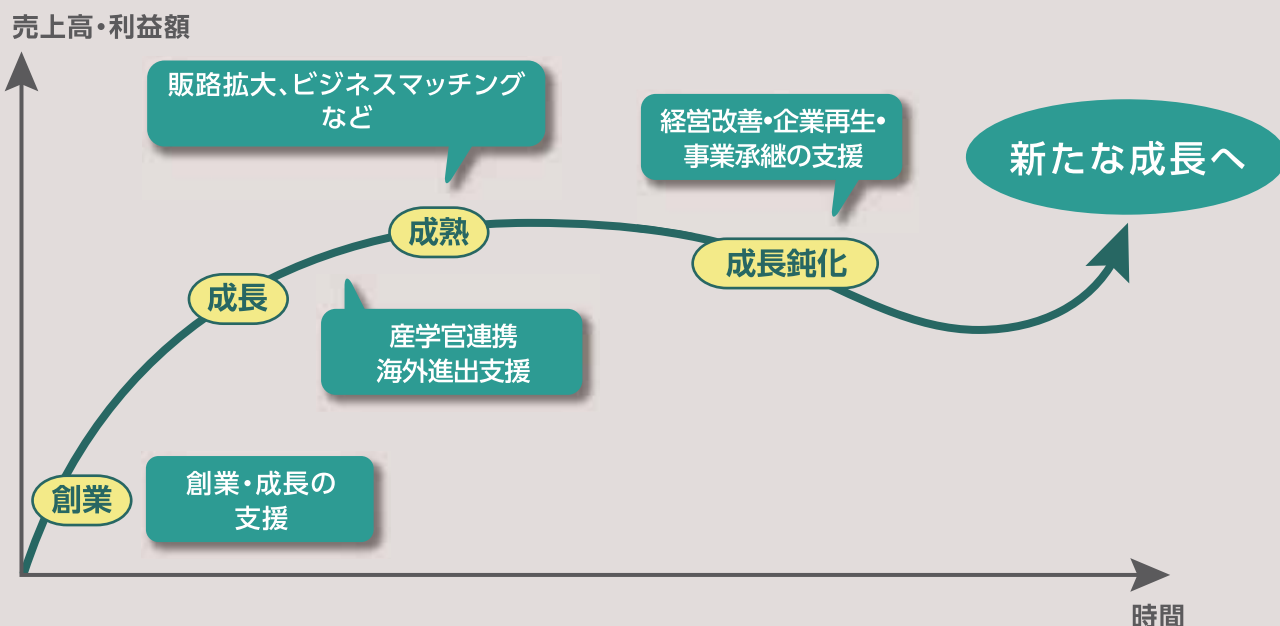
- ①信金中央金庫(信用金庫の中央機関)の海外ネットワークとの連携による支援
- ②海外現地情報の提供
- ③海外事業展開に精通した専門機関の紹介
(新輸出大国コンソーシアムの活用など)

経営改善 支援

経営課題をサポートします!!

- ①経営改善計画の作成支援
- ②ビジネスモデルの再構築や第二創業に向けた支援
- ③外部機関と連携した支援

事業者様のライフステージに対応した支援



経営上のお悩みや課題お抱えではありませんか？

例えば…

- ✓ **売上**を増やしたい
- ✓ **利益**を増加させたい
- ✓ **補助金、助成金**を活用したい
- ✓ **経営革新**計画の承認を受けたい
- ✓ **海外進出**について知りたい
- ✓ **海外販路**を拡大したい
- ✓ **事業承継**についてアドバイスを受けたい
- ✓ **専門家**を紹介してほしい
- ✓ **展示会、商談会**に参加したい
- ✓ **設備投資**をしたい

その他、何でもご相談ください！

「かわしん」が経営課題の
整理から解決までを支援します！



ご相談受付表

本表をご記入の上、営業推進部地域産業支援課へFAXでお申込み下さい。
FAX : 048-259-4112 (担当: 岸)

1. お客様について

記入日 平成 年 月 日

ふりがな			
事業者名			
	お取引店舗名	支店	
ふりがな 相談者様	ご役職		
TEL	FAX		
業種	該当項目に☑してください。 ☐ 製造業 ☐ 卸売業 ☐ 小売業 ☐ サービス業 ☐ その他()		
事業内容			

2. ご相談内容について

ご相談内容	該当項目に☑してください(複数回答可能)。 ☐ 事業承継について相談したい ☐ 経費削減を検討したい ☐ 販売先を増やしたい ☐ 設備投資を行いたい ☐ 海外展開を検討したい ☐ 新たな事業を始めたい ☐ 新商品を開発したい ☐ 労務管理について相談したい ☐ 販促について相談したい ☐ 補助金、助成金を活用したい ☐ 新たな人材を確保したい ☐ 経営計画を作成したい ☐ 資金繰りについて相談したい ☐ 知財の活用について相談したい ☐ IT関連について相談したい ☐ その他()
	その他 (ご相談内容の詳細・補足・要望など)

記入していただいた個人情報に関する事項については、本相談受付にのみ使用するものとし、他の目的のためには使用いたしません。

 **川口信用金庫**
<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>



発行: 川口信用金庫
地域産業支援課

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL: 048-253-3333(代表)
HPアドレス: <http://www.shinkin.co.jp/ksb/>